

懇談テーマ1

① 次の①②③の進捗状況、並びに、完成予定について伺いたい。

①野崎駅並びに駅東口周辺の整備について

- ・都市計画道路3・4・7号 野崎駅東口線道路の改良
（駅東口から改札に行けるようJRと交渉を）
- ・野崎駅の西口から東口への行ける通路の設置と高架駅化
- ・野崎駅にエレベーターの設置

②都市計画道路3・3・3号（野崎こ線橋通り線）の整備について

③国道4号（土屋バイパス）の整備について

②国道461号線と県道192号線が交わる野崎十字路交差点の国道461号線側に右折車エリアを設けることにより、直進車と右折車の安全を確保できないか伺いたい。

【回答】

①-①本市唯一の鉄道駅であるJR野崎駅周辺は、中心市街地と同じく、本市の中心拠点としての役割を担う「都市核」として位置づけられており、市民にとって生活の中心となるエリアです。

現在、JR野崎駅の駅舎と改札は、西口のみであることから、JR野崎駅の東口を含めた駅東口周辺の整備について、調査・検討しているところです。

都市計画決定している都市計画道路3・4・7号野崎駅東口線については、今後、国の事業認可を受け、順次事業を進めていきます。

また、JR野崎駅の自由通路及び橋上駅舎化については、都市計画道路3・4・7号の道路整備の進捗に合わせてJR東日本と協議を進め、その規模や事業費等についても具体化していきたいと考えています。

その中で、エレベーターの設置については、国際目標であるSDGsの中で「弱い立場にある人々が安全に使える公共手段」が掲げられていることから、市としてエレベーターの設置について配慮したいと思いますので、それらを含めJR東日本と協議を進めていきます。

なお、駅前広場を含む駅関連施設の整備にあたっては、大型の建設機械や資機材が必要になることから、都市計画道路3・4・7号の道路整備が完了し、大型の建設機械や資機材が搬入できるようになってからの施工となるので、都市計画道路3・4・7号の道路整備を先行していきます。

引き続き、地元の皆様、関係者の皆様にはご協力をお願い申し上げます。

①-②都市計画道路3・3・3号野崎こ線橋通りの整備について、本事業は栃木県が事業主体となって進めているため、栃木県大田原土木事務所に進捗状況を確認したところ、「令和2年度の地元説明会の後、令和3年度から用地取得に着手しており、令和4年度におい

でも引き続き用地取得を進めていく。」とのことでした。

なお、工事の着手時期については未定とのことですので、市では引き続き進捗状況の把握と早期完成に向けての要望を行っていきます。

①-③国道4号矢板大田原バイパスの整備について、国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所に進捗状況を確認したところ、「今年度も引き続き調査設計を行っており、その後、順次「用地幅杭設置」「用地の測量・調査」「用地交渉・契約」「工事の実施」と進めていく。」とのことでした。

なお、工事の着手時期については未定とのことですので、市では引き続き進捗状況の把握と早期完成に向けての要望を行っていきます。

②国道461号と県道滝沢野崎停車場線、県道192号の交差点整備について、両路線の管理者である栃木県大田原土木事務所に今後の整備について確認したところ、「現在、大田原土木事務所管内においては、早期に対策する必要が高い場所を優先に整備を進めているところであり、当該交差点の整備については、車両の通行状況などを見極めつつ、整備優先度を勘案しながら検討していく。」とのことでした。

市では栃木県に対して交差点整備の要望を行っていきます。

懇談テーマ1（再質問）

野崎駅にエレベーターの設置というのがあるが、これはバリアフリー法という法律があって、そういう法律について、大田原市としてその法律を解決しないで進めることすらできないと思う。具体的にどのようにして市だけで、法律があるのだからそれを乗り越えるには具体的に進め方を決めないと、いきなりやると言っても法律的なことはどうなのか。

【回答】

施設を整備するという事になれば、バリアフリー法等の法律に適合するような形での整備となると考えています。

懇談テーマ1（意見）

国道461号と県道292号の交差点について、春の交通安全運動時に私も立哨の一人として立ったが、朝夕については非常に危険な状況が見受けられた。

特に大田原から矢板方面に向かう461号の右折、それから矢板から大田原方面に向かう様々な車が右折をするが、停止線がないため先頭車は様々なところで停止している。

回答にあるように、優先順位ということだが、一日24時間の全体の中での優先順位ということであれば、非常に間違っただけと言うか、非常に事が起きてからでは間に合わないということもあるので、優先順位はあらゆる角度から決めていかないといけないのではないかなと思う。特に朝夕、これをきちっと見ていただくということが重要ではないかなと思う。

行政の方々には実態調査をもう一度検討していただき、早期に停止線を設定する、それと合わせて矢印などもやっていただきたい。

【回答】

意見のため回答なし。

懇談テーマ1（再質問）

回答を見ると、事業の着手は未定と時期は未定で、①については今後事業認可を受けるということで、かなりいつになるのかわからないような回答になっている。

大体いつ頃を目標にして事業認可を受ける予定だとか、例えばこ線橋通りなどは県の事業だが、用地の取得が現在何%くらい進んでいるのかという状況は市で把握していないのか。

【回答】

県の事業の3・3・3号の方については、用地の取得がどのくらい進んでいるかという数値的なものまでは把握していません。

都市計画道路3・4・7号については、都市計画の変更が伴うような状況になっていますので、変更を経て、あくまで予定ですが令和7年度の事業認可を予定しています。

その後、用地の測量、用地の取得等を行い、現時点では3・4・7号の事業完了を令和16年と見込んでいます。

懇談テーマ1（再質問）

野崎駅の2階の乗降が完成するまでには、今何合目にいるのか。それを実現していただくためには、大田原の方々が真剣になって野崎のことを考えてくれないと一歩も進まない話だと思う。

一歩でも進んでいくためには、何十年経とうが、どこかで何かを始めないと、そこにはたどり着かないので、その先鞭を新市長につけていただきたいと思う。

【回答】

西口の整備については、先代、先々代の市長のお力添えをいただいて、粗方整備ができたと思っています。

こ線橋も含めて東口の整備と橋上駅舎については、何合目かと言われれば1合目もいないと思っていますので、まずは都市計画道路3・4・7号の整備から入っていかないと、駅舎を整備にするにしても大きな機械とか色々なものが東口の方に運べないということもありまして、まずは都市計画道路3・4・7号の東口線の道路整備、ここに手をつけることが最初なのだろうと考えていますので、令和7年の許認可を受けて、16年に完成を目指すということから野崎駅の整備は進んでいくという認識でいます。

懇談テーマ2

運転免許証の返納者に対する移動手段の保障について、現在、市営バス、デマンド交通等は5年間、無料で利用できるが、無料期間の延長の予定はあるか伺いたい。

【回答】

運転免許証の返納者に対する移動手段の保障についてですが、認知機能の低下等による高齢者の交通事故を少しでも減らすため、市と警察が協働で運転免許証の自主返納を促すための補完事業であります。

現在、市営バス等の無料乗車証交付決定を受けてから5年間の有効期限となっておりますが、平成29年10月以前は、1年間の有効期間であったものを、5年間に延長した経緯がありますので、今の有効期間を継続していきたいと現時点では考えています。

懇談テーマ2（再質問）

返納の問題については大変重要な問題だと思っていて、野崎地区においても高齢化率はどんどん高くなっている。

また、返納者は高齢とは限らず、認知機能が早く不全になってしまったとか、若い人からお年寄りまで、返納者は偏らずに若い人からも必ずあるはずだと思っている。

そういった時に家族を頼るというのもあるが、永久乗降証というか延長を無限に続けるのは難しいと思うが、6年、10年、15年と有効期間の延長について検討しているのか。

【回答】

当初は1年ということを始めまして、最初の頃は自主返納者の方も少ないというのが現実でして、それから毎年、交通事故等のニュースに応じて、メリット・バスの無料化ということよりは、家族と相談して返納するという方が大変増えています。

少し様子を見ようということは何年か1年でやってきて、それから5年間に延長して、その検証を今している段階です。

小さい自治体ですと生涯無料ということもあるのは存じておりますが、大田原市の場合ですと直近のデータで854人の方が自主返納事業に申請登録していただいております。

返納事業については、一旦、窓口で相談に来ることが多いので、状況を聞き取りしながら返納について促しているところです。

返納による無料券の交付については財源の問題や他の公共交通機関の利用者との公平・不公平等もありますので、今いただいたお話も十分に踏まえまして、今後この制度をどのようにやるかということは内部で十分に議論していきたいと思えます。

懇談テーマ2（再質問）

停留所のマークが一本あるだけというところが多いと思うが、ベンチ等がないとお年寄りが待っている間ずっと立っていなければならない。

ある街では椅子にスポンサーを募って設置しているので、そういうものをできることからやると良いと思うが、そのような考えはないのか。

【回答】

停留所にベンチということで、結構そういった要望を受けることがあります。

特に高齢者の利用が多くて、ここに付けたいという要望がありましたら、生活環境課

にご意見をお寄せいただければ、そういった広告物の椅子等も考えながら整備について協議していきたいと思っておりますので、色々と情報をいただければと思います。

懇談テーマ3

野崎駅周辺の賑わいの創設について

現在、野崎地区では活性化協議会が組織されており、同会の努力により夏祭り等が開催され賑わいを提供されているが、その時だけの一時的なものに終わることなく、このような賑わいを一年中持続的に展開できることが必要かと思われる。

野崎駅の整備実現とコラボしての駅周辺の賑わいの創設により、県内、全国からの集客を図って、野崎地区引いては大田原市の発展に繋がる施策を要望するとともに、野崎駅前を昔の姿のような“人の集まる”活力ある町にする施策として、以下を提案する。

- ①アウトレットやコストコ等郊外型大型商業施設や特異商業施設や駄菓子屋横丁などの誘致（モータリゼーション社会に即応した施設）、あるいは軽トラ市やリヤカー市等のイベントの定期的開催により地区内、市内はもとより県内、全国からの集客を図る。
- ②野崎工業団地の企業とタイアップして利用・集客の促進を図る。

【回答】

野崎地区においては、野崎地区活性化協議会が中心となり、桜まつりや夏まつり、イルミネーションなど、地域の活性化に向けた様々な取り組みを行っていただいています。

本市でも、地域に愛着を感じておられる皆様が、自分たちの地域をより良くしようという夢と熱意をもってチャレンジする団体等に対して、商店街等の活性化支援施策の一つとして創業支援を実施しています。

具体的には、商店街等において、創業のため利用する空き店舗や10年以上継続して営業している店舗に対して、改修費用の一部を補助する「大田原市起業再出発支援事業」をはじめ、大田原商工会議所と連携した相談窓口の開設や創業塾の開催、お試しショップの実施など各種創業支援事業を実施しており、一定の成果をあげていますので、ぜひご活用いただきたいと考えています。

大型店舗等の誘致については、地元小売店への影響なども踏まえ、地域商業との共存を考慮しながら検討していきたいと考えています。

また、活性化協議会において、立地企業とのコラボ企画等をお考えいただいた際には、市が窓口となり協議会と企業との橋渡しをいたしますので、ご提案いただければと考えています。

今後とも、支援策の周知徹底を図るとともに、地域の活性化と商業活動の支援に取り組んでいきたいと考えています。

懇談テーマ3（意見）

今の回答だと何もしないということと同じじゃないかと。活性化協議会におんぶに抱っこでは。具体的に提案が出ているので、これについて真剣に考えるべきではないか。

【回答】

意見のため回答なし。

懇談テーマ3（意見）

私は活性化協議会の会長をやっており、お祭りだとか、夏祭りとか桜祭りとか、冬には駅前でイルミネーション等の設置をやっているが、お祭りのときだけ人がパッと集まってきてワイワイガヤガヤ。終わったらサツといなくなるということで、経常的に活性化できるような形を作っていきたいと思っている。

今、工業団地があって、東京等から出張者が結構来られるが、野崎地区に泊まる場所がないので、西那須野の方の駅前の方で泊まれば飲み食いするところがあるということで、みんなそちらに行ってしまう。

もし野崎地区にあれば、出張に来てそのまま野崎地区でお金を落としていただいているようなことができると思うので、野崎地区の駅前周辺をなんとか活性化していただけたらと思っている。

工業団地の企業とのタイアップということも、私が会社に勤めていた時に、私の勤めていた会社が工業団地の幹事会社になったときに、工場長に「どこかこの周辺の企業で野崎の駅前あたりにコンビニや生協的なものを作ってくれませんか」とお願いしたことがあった。

何も無いからそこに人が集まらない、集まらないから寂れていく。これが堂々巡りになっているので、どこかで止めたいと思っている。

活性化協議会としても、資金繰りも厳しく、経常的にやっていくのは難しいところがあり、8月に夏祭りをやる計画を立てているがコロナの関係で難しいという気がしている。なんとか行政からもご指導をお願いできればと思っているのでよろしくお願いしたい。

【回答】

意見のため回答なし。

懇談テーマ3（意見）

野崎工業団地の企業さんは一生懸命やろうとしていた。私が会社に勤めている頃は東芝さんもお祭りをやっていた、富士通さんもお祭りをやっていた。

その後、東芝さんはやめてしまって、富士通さんは今どうか分からないが、企業として一生懸命お祭りをやって盛り上げようとしてやっていたが、それが無駄になってしまった。そのときに行政として一緒になって何かやっていたら、ちょっと違ったのかなと。

今から工業団地さんにやりましょうと言っても無理だと思う。

【回答】

意見のため回答なし。

懇談テーマ3（意見）

企業のお祭りは今はほとんどやってないと思われる。富士通さんで冬にイルミネーションを会社でやっていた、それをやめてしまったので、交渉をして活性化協議会の方にイルミネーションをいただいて、それを利用して野崎の駅前でイルミネーションをやっ

ている。壊れたら少しずつ補修をしているが、なかなか高価なもので、パツとうまくはできないが、そういうことで企業さんから少し補助をいただいている。

【回答】

意見のため回答なし。

懇談テーマ3（再質問）

話を聞いていて、確かに寂しいなと思った。市で地域おこし協力隊の方がいると思うので、その方のアイデアを生かして、私たち自治会のアイデアの参考になれば嬉しいと思う。

【回答】

地域おこし協力隊という制度がありまして、今5名、特に首都圏の方が多いのですが、都会から田舎に行って、自分のチャレンジしたいことをやったり、地域貢献をする方を市の会計年度任用職員として雇いまして、給料を出しながら3年間地域活動をしています。

これまでで33人いますが、その中で大田原市に根付いている方が10名近く住んでいます。

通常の勤めをしていた方ですと、田舎に来て新しい生活というのが難しく、アイデアが出せるような状況ではないものですから、どちらかという地域課題があって、例えば今多いのは、中山間地域で農業後継者を雇いたいところに住んで農業をやってみようとか、今ご意見があったものと、駅前の空き店舗を復興させて、そこに農作物の直売所や喫茶店をやってみるとか、そのようなチャレンジする受け皿ができていて、そこに手を挙げるものが来やすいのですが、今お聞きした要望についても、野崎に限らず大田原市の空き店舗を使ってそこで起業してみないかというような募集をすることによって、「どこがありますか？」ということになれば、行政の方からいくつか提示して、その中に例えば「野崎地区の空き店舗があるけどどうですか？」とか、皆さんからご意見があれば募集につながれると思いますので、今年度も募集をこれからやるにあたって、いただいたご意見も大いに参考にさせていただきたいと思います。

懇談テーマ3（意見）

野崎駅前地区、新しい家が建って若い世代が増えていて、そういう若いパワーをうまく取り込めたらもっと活気が出るかなと思う。

【回答】

意見のため回答なし。

懇談テーマ4

① 地区内の小中学校の校舎・体育館の補修、改築等について市の考えを伺いたい。

① 野崎地区内の小中学校について、統廃合計画はあるのか。

- ②建設から50年以上経過し老朽化している建物や、狭い建物が多いが、補修・改築の計画はあるのか。（外のトイレの水洗化を含む）
- ③薄葉小学校校舎外壁の修繕について。
- ④体育館の出入口の階段への手すりの設置について。

②通学路の安全確保

- ・児童・生徒達が、安全で安心して通える通学路の確保、危険箇所へのガードレール、車止め等の設置（例えば333号線、ニュータウンから中薄葉公民館の間等）
- ・先ではあるが、4号線バイパス工事に伴う石上小学校児童、一般車両、歩行者の安全確保（計画段階から、安全・衛生面への配慮、ルール作りをお願いしたい）

【回答】

①－①市では、平成26年に答申されました「大田原市立小中学校再編整備に関する答申書」にそって学校の統廃合、学区再編を行っています。

答申書には市内小中学校の統廃合案が提案されており、これまで、佐久山中学校と親園中学校の統合、佐久山小学校と福原小学校の統合を行ってきました。

学校は子どもたちの教育の場であるとともに、地域のコミュニティーシンボルとしても重要な施設であると認識していますので、必ずしも小規模な学校を統合していくというものではありません。

ご質問の統廃合計画の有無については、答申書には、野崎中学校の統廃合は示されていません。薄葉小学校と石上小学校については、この2校の統合が提案されています。

薄葉小学校については、平成29年度に実施した西原小学校区の再編整備により、市営実取団地周辺の地域を学区内に編入しました。

薄葉小学校と石上小学校の児童数の現状や今後の推計を見ますと、薄葉小学校については減少傾向にありますが、学校運営や子どもたちの教育環境が著しく低下する状況とは考えていません。

また、石上小学校は微増ながら一定数を維持して推移していくことも想定されます。

そのような状況から、市としては2小学校の早急な統合の必要性は考えておらず、地域の皆様方に両校の統合をご提案することは現時点では考えていません。

今後も児童数の推移を見守りつつ、地域の皆様方のご意見も確認しながら対応していきます。

①－②・③ご指摘のとおり老朽化している校舎等が多いのが現状です。薄葉小学校の校舎が、昭和52年、55年、62年、体育館が、昭和54年、石上小の校舎は、昭和49年、50年、体育館が平成6年、野崎中学校の校舎は、昭和54年、61年、体育館が昭和41年築となっています。

改修、改築の計画については、本市では学校の長寿命化計画を定めて、計画に沿うよう改修等を進めています。

昨年度は、石上小学校の昭和35年築の集会室の解体を行いました。本年度は、薄葉小学校の大規模改修を実施いたします。先日、施工業者が決まり、夏季休業期間中をメイ

ンとして、大規模改修を行います。改修内容としては、校舎の屋根、外壁、廊下天井、床、照明のLED化を予定しています。

今後の計画としては、野崎中学校の体育館の改修を長寿命化計画に計上していますが、具体的な実施時期は未定です。

グラウンドなどの外トイレの洋式化については、現在、石上小学校及び野崎中学校の外トイレについては洋式化の改修が終了しています。薄葉小学校の外トイレについては、来年度令和5年度に改修を予定しています。

①－④各学校の体育館は投票所となっていたり、レクリエーションの場となっていたり、高齢者の方の利用が多いことも理解しています。

各学校の施設修繕については、学校からの修繕の要望を聞き、危険度など優先順位を付けて、予算の範囲内で実施しているところです。

学校からの手すりの具体的要望は伺っていませんが、学校施設のバリアフリー化も推進していかなければなりませんので、本日いただきました意見も参考に、今後、設置できるよう調整していきたいと思えます。

②市内小中学校では、児童生徒の登下校中の安全確保のために、交通安全教室を開催したり、自転車教室を開催したり、登下校中の見守りなどを行っています。

市内の通学路の安全確保については、学校安全ボランティアの方々やスクールガードリーダー、PTAの安全担当、保護者と地元の方々から、登下校の見守り活動等で気づかれた危険箇所の情報を学校を通して市へ提供いただいておりますので、関係機関と情報を共有し、対応しているところです。

ご質問の例にある都市計画道路3・3・3号線、ニュータウンから中薄葉公民館の間などについては、学校、教育委員会、警察等により合同で実施される通学路点検の際においては、危険箇所とは判断されておらず、また、登下校の時間帯ですが、通勤者等で同道路の速度超過の車両等は少ないと思われ、交通量もそれほど多くないと判断しています。

現在、歩道がない通学路は大田原市内に多数あり、既に歩道がある本件通学路においては、現状の安全対策を継続することをご理解いただきたいと思います。

4号バイパス工事については、国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所において現在、調査設計段階でありますので、児童、一般車両、歩行者の安全確保についても情報収集に努め、全ての利用者が安全に安心して利用できるよう、国道事務所に要望していきたいと思えます。

懇談テーマ4（再質問）

薄葉小学校を改修していただいているが、改修の内容の中でトイレの改修が入っていない。校長先生と話したが、トイレが一部は洋式化になっているが、まだ洋式化もあまり進んでいないのと、トイレの匂いがタイルとか壁に染み付いていて臭い、感じが悪いというのを聞いた。なぜ今回トイレ改修がこの改修の中に入らなかったのかという点と、あとは薄葉小学校のトイレの改修計画。野崎中学校は綺麗になったと聞いている。

もう一点、体育館の立て替え、改築について、野崎中学校は長寿命化計画の中に入っていて実施年度は未定とある。薄葉小学校は長寿命化計画にも入っていないと思っているが、体育館は地元でも夜間利用させていただいている。

かなり古くて狭いという状況で、財政も大変だと思うが、できれば少し広めに。石上小学校の体育館は広くて綺麗になっている。野崎中学校と薄葉小学校の体育館の改築をお願いしたい。

【回答】

薄葉小学校のトイレの改修については、市内の小中学校のトイレの洋式化については、今までは和式トイレがほとんどだったものをまず洋式化に進めていこうということで、全部のトイレを洋式化することは児童生徒数の数も減っているということもありまして、目標としてはトイレの数の半分の50%の洋式化を目指して実施していきまして、薄葉小学校については、その工事についての50%の洋式化が完了しているということで、今回の改修の中にトイレの洋式化が含まれていないのが現状です。

先程お話があったように、トイレの中が臭いということになりますと、今度は配管の問題もありますので、今後、学校の意見を聞いて、例年実施している営繕要望の中で予算の範囲内で改良ができればと考えています。

野崎中と薄葉小の体育館が大分古いということで、立て替えについてですが、現在、市の学校については、まずは教室等の改修、大田原中学校の老朽化していた校舎の建て替えがやっと完了できたというところですので、今後、体育館とか付属施設の改修に着手できていければと思っています。

まずは大田原小、紫塚小の木造校舎の改築が完了して、大田原中学校の教室等の老朽化したものがやっと新築できたというところですので、今後、体育館等の改築は随時計画に則って改修・改築ができていければと考えています。

ただ、それがいつになるかはお話することはできませんので、未定ということで、長寿命化計画の中には時期としては謳っているのですが、それがいつ実施できるかは今のところご回答はできないということでご理解をいただければと思います。

懇談テーマ4（再質問）

洋式化目標は50%という回答だが、全国的に洋式化というのはもっと高い数字だと思う。50%で学校の方では先生とか子どもたちは満足しているのか。和式の方もかなり使われているのか。数が少なければ使わざるを得ないと思うが、50%の目標というのは少し低いのではないか。

【回答】

今は自宅でもほとんど皆さん、子どもたちも洋式を使っていると思います。和式のトイレはなかなか使っている子どもさんもないのかなとは思っているのですが、今後、数が不足しているということであれば学校との話し合いをして、増設できる範囲でやっていければと考えています。

懇談テーマ4（意見）

洋式化については文部科学省の補助制度もあると思うので、補助事業を利用して学校の意見を聞いて進めてもらえればと思う。

【回答】

意見のため回答なし。

懇談テーマ4（意見）

私の方から小学校の体育館の所に手すりをつけてくださいというお願いをした。
健康診断の時に高齢者の方が多いので、杖について来た時に階段があって、中で問診等やって、外に出てきてレントゲン等をやるので、その階段の上り下りが杖をつきながらだと大変だと聞いて、学校からは何も言っていなかったが、手すりでもつけてもらえれば、なんとか上れるという話があったので提案させていただいた。

【回答】

意見のため回答なし。

懇談テーマ4（意見）

野崎駅から4号にぶつかったところに信号があり、そこから北に向かって次の信号というと小学校までない。4号沿いが住宅地で、常に危ないところで、その間、信号がひとつもないので、回覧板をまわすのにも、とにかく渡って命がけで行くが、1日2万台通るところなので、他の道路とは完全に違う。

公民館から出たところの丁字路で、信号をつけていただきたいということを、危機管理課や警察に行って申し上げたこともある。

危険な頻度からいうと、一番危ないところだと思っている。使っていない押しボタン式の信号があったら、そちらにまわしていただけたらと思う。

【回答】

意見のため回答なし。